広報
いまかね

民主主義に徹し生活を合理化して近代的な町にいたしましょう。　（町民憲章より）

早くも大はしゃぎ　町立幼稚園

今年度から町立に移管された幼稚園で4月7日開園式。

旧高校跡の園舎に4・5歳児の133人 全員が出席。お母さんから離されベソをかく子もいましたがほとんどは元気いっぱい。5人の先生に早くもなつき、歌や紙芝居に大はしゃぎでした。

'74年
4月号
No.190

一般会計は十一億一千万円
四十九年度予算決まる

第一回定例町議会は三月十二日から十八日まで開かれ、新年度各会計予算、四十八年度各会計補正予算、土地開発基金条例の制定、収入役の選任など議案二十件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

この議会で決まったおもなことは次のとおりです。

◇四十九年度各会計予算

一般会計十一億千五万六千円、特別会計五億五千百三十一万四千円で総額十六億六千百三十七万円になり、前年度と比べ一般会計で一〇・一%、特別会計で二三・一%の増です。（詳しい内容は三、六、七ページで特集しています）

◇四十八年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ二千七百一万八千円が追加され、予算総額は十一億九千百十六万六千円になりました。

追加のおもなものは、土地開発基金繰出金に九百七十万六千円、老人、心身障害者医療扶助に百四十九万円、北部桧山衛生センター組合負担金に九十二万円、除雪機械借上料に百二十二万二千円、中央線街路事業移転補償に七百四十一万八千円、救急車用備品購入に五十四万七千円、種川小調理場改築工事に四十四万八千円、給食用設備備品に百五十万八千円、幼稚園買収に四百六十万七千円、社会体育交付金に三十五万円、納税貯蓄組合奨励金に二十九万二千円などとなっています。歳入では地方交付税千七百七十五万五千円、町債九百五十万円、国庫支出金四百二十八万三千円、道支出金二百三十一万七千円、地方譲与税二百万円、町税百八十五万二千円などが見込まれました。

◇四十八年度特別会計補正予算

国保会計事業勘定では、療養給付費や高額療養費など七百五十万二千円が追加され総額一億八千五百九十七万九千円に、国保会計施設勘定では薬品費など千八百七十六万円が追加され総額二億九千三百七十万円に、簡易水道会計では、維持管理費など十万四千円が追加され総額一千六十七万五千円に、種川簡易水道会計では五十万五千円が減額され総額三千三百四十万三千円になりました。

◇教育委員会委員の任命

任期満了に伴い河村昭夫さん（八幡町）が再任されました。

◇固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い幅口徳太郎さん（鈴岡一）が再任されました。

国民健康保険の出産祝金が二万円に

◇土地開発基金条例の制定

公共用地（公用地などの先行取得により事業の円滑な執行を図るため、三千万円の土地開発基金が設けられました。

◇国民健康保険条例の一部改正

四月一日から出産祝金が一万円から二万円に改められます。

◇固定資産税の特例条例の制定

町の酪農振興のため、日進共同利用模範牧場の事業にかかる固定資産税が昭和四十九年一月一日から五十三年十二月三十一日までの間免除されます。

◇町職員の給与条例の一部改正

四月一日から国保病院の宿日直手当が医師二千五百円、看護婦二千円に改められます。

◇請願

「四十九年度加工原料乳保証価格等畜産物価格の大幅引き上げ」「失業保険制度の充実、改善」の請願が採択され、町議会から国に対し要望意見書が提出されました。

◇総務委員会審査報告

種川地区学校プール設置についての陳情は、全町的に積極的に検討すべきものとして、その主旨が採択されました。

一般質問

この議会で町政に対して三議員から一般質問があり、町長と教育長が回答しました。おもな内容は次のとおりです。

◇町内で三千ヘクタールもの山林原野が買収されており、農地にも影響している。土地取引の規制ができないか＝町段階では決め手がないが、農業委員会とも協議し極力抑制に努めたい。土地対策要綱策定も早急に検討する。

◇休耕田の復元のため、田の管理と営農意欲の指導は＝水田の基盤整備も生産意欲がなければできない。利益の多い農業経営を目ざし、農家と話し合いの上復元を進める。

◇農地を守る治山事業の計画は＝五十年度に元村の沢を計画している。今後も道に積極的に要請したい。

◇農家の結婚問題など後継者の育成対策は＝結婚相談所を設けアンケート調査などで希望をとりながら世話したい。新年度から記念品の贈呈も考慮する。

◇全町に婦人防火クラブを設けるなど予防消防の強化を＝四月から広域消防になるが、予防に力を入れるのかねらいだ。防火クラブの結成に努めるとともに婦人の集会などの機会を利用し防火の知識を普及していく。

◇学校給食の内容改善を＝給食センター建設は繰り延べになったが、経費を効率的に活用し内容も子どもたちの好むもの、栄養のあるものに改善していく。

◇中学校統合の考え方が後退したように思われるが、今後どのように促進するのか＝将来一校に統合する基本方針は堅持している。五十二年度に統合校舎建設を計画しており、それまでは父兄の意思を無視してまで強請しない。

◇国保病院のリハビリに精神的経済的な面を指導するケースワーカーを置く考えはないか＝必要性は認めるが、経営の面もあり病院と協議して決めたい。

◇特別養護老人ホームの建設に当り種川では後援会を組織し部落ぐるみで協力体制を示している。町費で研修など育成助長を考えては＝特養ホーム建設は、新年度の町政の柱として町民の理解と協力を得ながら取り進める。建設は社会福祉法人が当るが、その母体として準備委員会を作り、結成後は協力会として残ってもらい、研修などは町として援助を惜しまない。

水道使用料をすえ置き
国保税は四八%の伸び

特別会計のあらまし

◇国民健康保険会計事業勘定（二億四千二百五十八万四千円）

総予算は前年度に比べ三七・二%増で、一億五千四百六十四万九千円の国庫支出金と八千百六十七万七千円の国民健康保険税がおもな財源です。

各種の医療費無料化、受診増、医療費の改定、高額療養費制度の開始などから医療費は大幅に伸びており、一般会計から六百万円を繰り入れるなどして被保険者の負担を極力軽くするよう努めていますが、保険税は前年度当初に比べ四八・六%の大幅増になっています。これは、一世帯平均五万九千二百十五円、一人平均一万五千五十一円になりますが、国からの臨時交付金が決まる六月には、若干負担が減って税率が確定します。

歳出では、療養、高額療養、助産、葬祭などの保険給付費に二億二千六百九十四万五千円、保健婦活動の費用に四百十六万七千円、納税組合奨励費に百六十二万七千円、予備費に二百十七万八千円などが計上されました。

◇国民健康保険会計施設勘定（二億八千五百四十六万五千円）

収入は、入院、外来などの医業収益が二億五千四百五十六万六千円とそのほとんどを占めており、人件費や薬品、給食材料費などの医業費用にまかなわれています。

また、資本的支出としてレントゲンなど医療用備品購入に千五百七十万円、看護婦宿舎改造や修繕に六百万円が計上されました。

◇簡易水道事業会計（三千五万七千円）

使用料の改訂が検討されましたが、公共料金抑制の方針もあり一般会計から二百四十四万五千円の繰り入れや経費の節約を図るなどして、当面現行使用料にすえ置くことにしました。

水道使用料八百三万六千円、簡易水道事業債七百八十万円がおもな歳入で、人件費や徴収委託料など総務費に六百十五万三千円、水道改良工事費に八百八十万円、給水工事費に百十七万円、維持管理費に百四十四万一千円、償還金利子に百三十六万二千円などが計上されました。

◇種川簡易水道事業会計（百八十九万七千円）

水道使用料九十八万五千円、一般会計繰入金七十九万一千円がおもな歳入で、人件費などの総務費に九十二万九千円、償還金利子に六十万六千円などが計上されました。

◇花石簡易水道事業会計（百三十一万一千円）

水道使用料五十一万九千円、一般会計繰入金七十二万円がおもな歳入で、人件費などの総務費に三十五万五千円、水道改良工事費に百十七万円、給水工事費に百十四万円、維持管理費に百三十六万二千円などが計上されました。

新しい収入役に久保田常次さん

第一回定例町議会で、昨年五月から空席になっていた収入役に久保田常次さん（前町財政課長・54歳・写真）が選任されました。

久保田さんは、昭和二十三年に二十八歳で復員後ただちに今金町役場に奉職。昭和三十七年から産業課長、企画室長、総務課長を歴任し、四十六年八月から財政課長を勤めていました。

福祉労政課を福祉課に
臨時町議会

第二回臨時町議会は四月二日開かれ、専決処分の報告など三議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

なお、桧山広域消防組合議会議員には、藤村徳蔵さんが選ばれました。

◇専決処分の報告

四十八年度一般会計の歳入歳出にそれぞれ百八十万円が追加され予算総額は十一億九千二百九十六万六千円になりました。

これは、今金小改築、公営住宅建設、公有林整備事業などの地方債が百八十万円増額になったためで、歳出では財政調整基金に積み立てられました。

◇課、室設置条例の一部改正

福祉労政課が福祉課に変更され労政業務が商工観光課で行われることになりました。

◇公平委員会委員の選任

石橋寿一さんの死去により、後任に辻理さん（本町）が選任されました。

決意新たに〝明るく豊かな町〟

町長が町政執行方針

三月十二日から開かれた第一回町議会で、河端町長は本年度の町政執行方針を次のように明らかにしました。そのあらましを紹介します。

効率的な財政運営で難局に対処

私は、昭和四十六年「明るく豊かな今金町の建設」に微力を捧げる決意をし、町長に就任して以来早くも三カ年を経過しました。この間、困難な町政に直面したことも多くありましたが、行政水準や各種の懸案事項が着々と進展したことは、議会をはじめ町民のみなさんのご支援ご協力のたまものであり、深く感謝しております。

本年度は、総仕上げともいうべき重要な年にあたりますが、かって経験したことのない物価高騰や石油危機という異常な情勢に対処し、万全の努力を傾注していく考えです。

国では、経済の正常化のため総需要抑制型の予算が編成され、特に、公共事業、地方交付税、地方債の伸び率がいずれも前年度を下回るというきびしい方針を示されています。このように、激動する社会情勢は町村財政運営にも重大な支障を及ぼしていますが、町自体としても国に呼応して行財政の合理化を図り難局に対処しなければなりません。

このため、歳入は従前にも増して確保を図り、歳出は重点的に配慮し、今後の財政運営を一層効率的に執行していく所存です。

特別養護老人ホーム建設に全力

豊かな福祉社会

重点施策の第一は、豊かな福祉社会の建設です。

私は、就任以来福祉政策を町政の最重点として推進してきましたが、経済社会情勢が急激に進展するなかで、生活基盤の立ち遅れがみられ、恵まれない老人や低所得者に不安を与える事態も少なくなり、解決を急ぐ問題も山積しております。このため、苦しい財政のなかで福祉を充実する施策については優先的に配慮し、福祉行政が停滞しないよう十分配慮してまいる所存です。

特に、寝たきり老人百人を収容する特別養護老人ホームの建設は重要懸案事項となっており、全力を傾けて町民の信頼と期待にこたえてまいる考えです。建設の推進や管理運営については、社会福祉法人が最善との結論に達し、町は側面から用地の確保、補助金、融資の残を援助することにしました。

このほかの老人福祉対策では、老人の希望にこたえ、敬老会の経費、老人クラブの運営費を増額しまた、寝たきり、一人暮しの老人が不安のない生活ができるようホームヘルパーの巡回、福祉ベルの設置など、きめの細かい対策を進めてまいります。

乳幼児は、昨年度から医療の無料化が実施されていますが、今年度は、生後七カ月から満三歳未満児を対象に、年二回フッソ歯面塗布を実施、虫歯予防に役だてる考えです。

町民の医療センター国保病院は院長はじめ職員の努力により順調に運営されていますが、より充実した医療のため、レントゲンを購入整備することにしました。

保健指導が広くすみずみまでいきわたるよう保健婦を新たに一名増員し、住民の健康維持増進に努めたいと存します。

老人、青年、婦人の研修、福祉向上を住民活動の場として中里地区にへき地保健福祉館の建設を計画、神丘福祉館についても狭あいのため増築することにしました。

昨年建設された豊田生活館を利用し、季節保育所を開設します。

消防庁舎七月完成 救急業務も開始

住みよい環境

第二は、住みよい環境をつくるために、であります。

不良環境地区の指定を受け、昨年度着工した上種川線の道路改良事業は、本年度完成します。これにより、地域の生活や生産の環境が改善でき、住民の利便は測り知れないものがあると存します。

飲料水の確保は計画的に推進していますが、美利河地区はいまだに取り残されていますので、地元と十分協議して推進する考えです。

昨年度から継続実施の消防庁舎の建設は、物価の高騰などの影響も生じており、検討の上配慮していく所存です。救急業務については、救急車導入後直ちに業務開始が要望されていましたが、職員の態勢なども整備でき、四月から業務開始することになりました。

交通事故は年々激増の傾向にあります。事故を防ぐには、町民一人ひとりが事故を起こさないという決意をもつことが必要です。町としても人命尊重の立場から、先取り的な指導を積極的に推進していく考えです。

町道の整備では、昨年に引き続き旭線の舗装を促進し、イマヌエル線の凍結雪防雪工事も計画しました。また、中央線街路事業は、昨年で用地の取得、支障物件の移転を終え、第三年次を迎えて路盤改良工事を本格的に行います。

中里橋は本年度から二カ年計画で永久橋化することにし、木橋で腐朽がはなはだしい八束橋、熊見橋、西郷橋、稲穂三号、四号橋などは補修整備し交通の確保を図ります。

道が主体となる馬場川橋掛け替え、白石農免道路、田代開拓線の整備にも負担金を計上しました。さらに、金原線、旭台線の道々昇格による用地図、道路図の作成についても配慮しました。

下排水は、整備を要望されている個所が多く残されていますが、当面緊急を要する第一幹線とその支線東町排水などを整備し、財源が可能な場合補正で措置したいと存します。

災害復旧事業は、西郷橋左右岸護岸工事をはじめ三カ所計画しました。

十カ年計画二年目の地籍調査事業は、神丘、鈴岡地区に加え、金原、鈴金、豊田地区を対象に実施します。

第二次山村振興地域指定に努力

産業の振興

第三は、産業を振興するためにであります。

山村振興法による対策は、昨年度で第一次を終わり所期の目的を達成しましたが、経済基盤を整備し健康で文化的な生活環境の確立を図るためには、第二次山振地域の指定を受け積極的な施策を推進することが肝要です。本年度は指定条件の整備に一層努力をしていく考えです。

米生産調整は本年度から転作奨励金のみとなります。休耕地の作付の問題、目標数量の円滑な割当の問題など多くの難問をかかえていますが、関係機関、団体とも協議し推進したいと存します。

水稲経営のための労働力確保は極めて困難でありきびしい状勢にあります。この打開策として、町としても技術の普及をはじめ、集団育苗並びに機械移植栽培を奨励し、育成助長を図ります。

畑作振興については、アスパラガスの定着奨励をさらに推進する考えです。

日進共同利用模範牧場も農協の経営努力により着々その期待にこたえつつありますが、酪農振興では、特に乳質の低下のための対策としてユニットクーラーを百戸に助成することにしました。

私は、若い方々が農業に魅力をもち希望を抱いて営農に励むことができる諸対策を考究しています。特に花よめ、花むこ対策が極めて重要性をもっていることを痛感しており、農業委員会とも協議し結婚相談所を開設したいと存します。

次に林業振興ですが、構造改善事業などを通じて育成を図るほか極めて小規模ですが育苗日覆施設に新たな補助制度を創設、良質な苗木の増産対策を推進します。

畑の沢林道は、ことしも継続実施、五十年度完成の見込みです。また、濁川林道は本年度から五カ年で八束から住吉までを開設する計画です。

商工振興対策については、中小企業の健全な育成を図るため、商工会への補助を増額、道信用保証協会の予託も必要に応じて増額を検討する考えです。

人口の流出は以前として続いており、このまま放置することは誠に憂慮されますので、受入態勢を整え本町の立地に適した工場の誘致を促進したいと存します。

観光開発は本町の将来性を考慮し計画的に推進していますが、本年度は温泉ボーリングを実施します。美利河地区の自然休養林指定も目下明るい見通しですが、一層の努力をしてまいります。

地質調査は、すでに東北部一帯を終えていますが、残る地帯についても町づくりはじめ資源開発の基礎資料にするため、おおむね三カ年計画で推進します。

物資の需給動向など総合的対策

消費者を守る

第四は、消費者の利益を守るために、であります。

町村行政の中で、消費者を守る行政は従来軽視の傾向にありましたが、私は、大きな転換をしなければならないものと反省しています。商業道徳をこえた悪質な行為などを常に監視し正しい情報を選択することは、多様化する生活に極めて重要な意義があるものと思われます。特に、産業用物資の需要確保は、当面生産に直結する緊急事項でもあり、行政的にも可能な限り配慮してまいります。

具体的には、役場内に物資需給緊急対策本部を設置し、需給動向の調査をはじめ、供給確保、需要抑制、関係機関との連絡調整、情報収集、苦情相談など総合的に対処することにしています。

※　※　※

そのほか、今日の激動する時代に対処してあすの今金町を築くため、青少年のたくましい成長を心から念願しています。広く海外の実情にふれる機会を得ることは意義あるものと考え、海外派遣についても積極的に配慮しました。

学校教育は人間形成によって極めて重要です。教育環境の改善にも一層努力したいと存じます。

また、幼稚園は四月から町立として発足しますが、施設の整備を計画的に進めてまいります。

※　※　※

以上、町政執行に関する基本的事項を申し述べましたが、自治体としてかって経験したことのない試練の年でもありますので、町民の深いご理解と議会のご協力により生活の安定と福祉の充実を図っていく決意であります。

激動する経済社会、国の総需要抑制などのきびしい財政運営のなかでの予算編成。町民のみなさんの要望をできるだけ満たすため、事業の重点化、資金の効率的配分に努め、一般会計は前年度比一〇％増の約十一億一千万円になりました。このなかで、事業などに使う投資的経費は四億三千三百八十万円（全体の三九・一％）医療費などの扶助費五千八百二十六万円（所[illegible]三％）また、人件費、物件費の消費的経費が一億九千[illegible]

歳入では、地方交付税が五億三千三百四十四万円と全体の四八・一％を占めており、自主財源の町税[illegible]億五百三十万円（九・五％）にとどまっています。

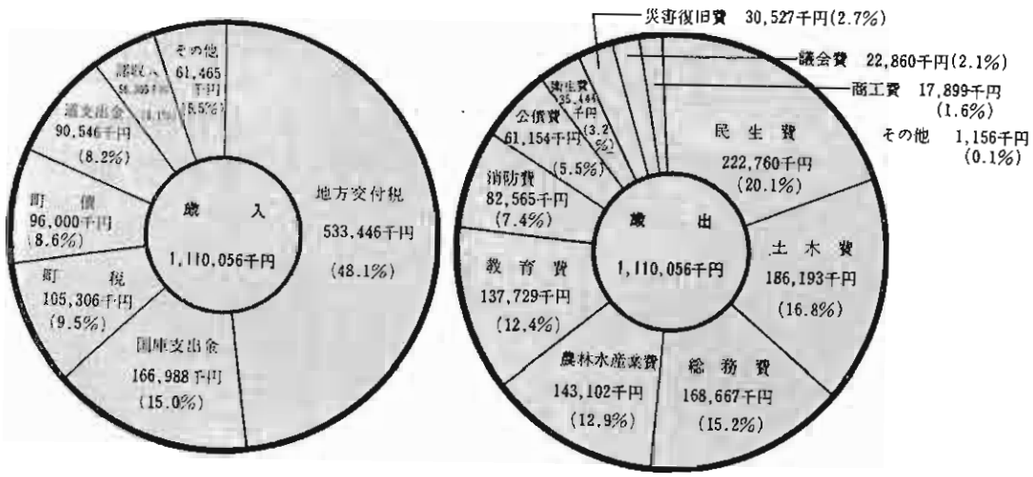
一般会計の歳入歳出割合とおもな使い道を紹介します。

ことしの建設工事もすでに始まった。町の防災センターとして期待される消防庁舎は7月末完成を目ざしている。

49年度はこんな仕事を

一般会計　投資的経費に4億3千万円

一般会計歳入歳出割合



住みよい環境づくり

▷中央線街路事業	6,661万円
▷旭線舗装事業	1,048万円
▷イマヌエル線凍雪害防止事業	1,500万円
▷大原線防雪さく設置事業	180万円
▷田代開拓道路補修事業	200万円
▷上種川地区道路改良事業	2,468万円
▷金原線、旭台線道路図作成	506万円
▷除雪など町道維持管理	1,704万円
▷中里橋など掛け替え事業	3,715万円
▷馬場川橋掛け替え事業負担	370万円
▷中里へき地保健福祉館建設事業	1,185万円
▷神丘福祉会館増築事業	400万円
▷消防庁舎建設事業	4,682万円
▷檜山広域消防組合負担	3,575万円
▷災害復旧事業	3,031万円
▷第1幹線川など整備事業	473万円
▷北部檜山衛生センター組合負担	1,896万円
▷3簡易水道会計へ繰出	396万円
▷美利河簡易水道調査設計	100万円
▷地籍調査事業	1,569万円
▷交通安全対策	258万円
▷住民活動推進	208万円
▷広報、町民便利帳発行	161万円

豊かな福祉社会の建設

▷特別養護老人ホーム建設事業補助	3,261万円
▷老人医療扶助費	4,01[illegible]円
▷老人家庭奉仕業務	66万円
▷敬老会、長寿記念品代	71万円
▷老人クラブ運営費交付金	59万円
▷心身、身体障害者家庭奉仕業務	132万円
▷重度心身障害者医療扶助費	100万円
▷乳幼児医療扶助費	91万円
▷児童手当扶助費	1,147万円
▷今金保育所整備事業	132万円
▷各季節保育所整備事業	233万円
▷フッソ歯面塗布	48万円
▷ガン検診負担	84万円
▷インフルエンザなど予防接種	76万円
▷国保会計事業勘定へ繰出	600万円
▷国保会計施設勘定へ繰出	70万円

経済基盤確立と産業の振興

▷水稲集団育苗、機械移植栽培奨励補助	118万円
▷北部檜山総合かんばい推進費負担	160万円
▷農業労務需給調整対策補助	60万円
▷アスパラガス栽培奨励補助	54万円
▷乳用雌牛集団放牧育成促進事業補助	95万円
▷日進高原模範牧場経営負担	300万円
▷乳質改善ユニットクーラー導入事業	250万円
▷白石地区農免農道整備事業	851万円
▷林業構造改善追加事業	834万円
▷畑の沢林道開設事業	2,978万円
▷濁川住吉線林道開設事業	1,296万円
▷奥沢農家林造林作業道事業	375万円
▷産業まつり負担	80万円
▷商工会事業補助	250万円
▷温泉ボーリング事業	248万円
▷ウサギ、タイヤ公園整備事業	75万円

教育施設の整備と人づくり

▷今金小校庭整備事業	354万円
▷今金小特別教室備品購入	208万円
▷校舎屋根ふきかえ事業	123万円
▷校舎2重窓新設事業	70万円
▷校舎、教員住宅電気工事	81万円
▷校舎内外環境整備事業	158万円
▷理科、産業教育備品購入	307万円
▷学校行事費交付金	79万円
▷学力向上対策協議会交付金	90万円
▷スクールバス運行	57万円
▷学校給食費	271万円
▷要準要保護児童生徒就学援助	237万円
▷幼稚園整備事業	325万円
▷教員住宅建設事業	1,070万円
▷社会教育交付金	357万円
▷青少年海外派遣負担	50万円

教育水準の向上に努力

教育行政の執行方針

第一回定例町議会で、犬上教育長から、年度の教育行政執行方針が説明されましたので、そのあらましを紹介します。

【幼児教育】

▽文部省では幼児教育を重視してきたが、本町でも町立幼稚園の経営に踏み切った。百三十五人を収容する施設としては無理な点もあるが、成果が十分あがるよう今後とも整備に努める。

【学校教育】

▽今金小は予定より一年早く完成したが、備品は学校運営に支障のないよう十分配慮、また、校庭の環境整備もできるだけ進める。

▽給食センター建設は繰り延べになり申しわけない。今年度は取りあえず種川小中、神丘小で新たに給食を開始する。

▽待望の学校保健委員会が発足した。児童生徒の保健には流感予防接種の半額町費負担、眼科検診の実施など積極的り取り組む。また、専門医による耳鼻咽喉科の検診も検討したい。

▽教職員の研究意欲にこたえるよう教育機器の充実に努力、より効果的な教育を目ざしたい。

▽中学校統合は父兄の意見を尊重し統合校舎建設までは強請しない方針だ。しかし、父兄の一致さえ得られれば希望に添いたい。

【社会教育】

▽過疎化から青年団活動は必ずしも活発でないので、農村青年と市街地青年との連絡協調を図り自主的な活動を指導、助長する。

▽学校施設などでできるだけ教育の場を設定。家庭、婦人、高齢者学級やスポーツ少年団を通じて意欲の高揚に努める。

▽町民センターの近代的設備と放送、視聴覚機器などを効果的に利用、楽しく親しめる社会教育を推進する。

▽体育主事の設置が実現したので、明るく豊かな人間形成、スポーツの日常化のためあらゆる階層にふさわしい指導、奨励、企画を進め、町民の期待にこたえたい。

▽本年度は道民スポーツ椴山大会の陸上競技、スキーの会場を引き受けているので、スポーツの町今金に恥じない運営に努力する。

▽歩くスキーの普及振興のためロードレース用具を助成、また、アルペンスキー場の開発も進める。

交通事故から守ろう

四月六日は入学式、新しいランドセルを背におかあさんに手を引かれてうれしそう。また、同じ六日の春交通安全運動もスタート。なれない通学で事故が心配です。みんなで声かけあって交通事故に注意しよう。

町職員の人事

【四月一日付】▽総務企画課長（総務企画課庶務係長兼職員厚生係長）吉田英俊▽財政課長（農政課長）飯田政市▽町民課長（教委社会教育主事）佐藤八郎▽農政課長（町民課長兼すぐやる係長）中井誠司▽財政課長補佐兼徴収係長兼税外係長（同課徴収係長兼税外係長）亀谷文也▽建設課長補佐兼建設係長（耕地課土地改良係長兼換地計画係長）高橋保▽耕地課長補佐兼地籍調査係長（同課地籍調査係長）浜田邦男▽総務企画課庶務係長兼職員厚生係長（同課企画係長）米世貞夫▽同課企画係長（農政課林務係長）白山孝▽同課調査係長（同課調査係兼災害消防係）村上規雄▽同課広報係長（財政課第二賦課係）鈴木捷▽町民課住民係長（同課住民係）竹内正夫▽同課交通安全係長兼すぐやる係長（同課住民係長兼交通安全係長）富沢昭雄▽農政課畜産係長兼農政係（同課農政係）久保田庄一▽同課林務係長（同課畜産係長）佐々木茂▽建設課維持係長（同課維持係）黒川博▽耕地課換地計画係長兼地籍調査係（同課地籍調査係）鎌田信隆▽同課土地改良係長（建設課建設係長兼維持係長）愛宮要▽総務企画課庶務係（新採用）伊藤裕美子▽同課管財係兼耕地課地籍調査係（国保病院）伊藤清▽財政課財政係（総務企画課庶務係）柳東津子▽同課第二賦課係（福祉労政課福祉労政係）南川康男▽同課徴収係兼税外係（福祉労政課福祉労政係）桜井繁▽町民課住民係兼交通安全係（財政課徴収係兼税外係）重田実▽農政課農政係（総務企画課広報係兼調査係）高畑秀樹▽耕地課地籍調査係（町民課交通安全係）高田俊彦▽出納係（財政課財政係）末広恵子▽議会事務局書記（新採用）福井幸子▽農業委員会次長兼総務係長（福祉労政課長）重村栄吉▽教育委員会総務係長（福祉労政課国保年金係長）坪田有隆▽同社会教育係長（農委総務係長）今野佑▽同社会教育主事（新採用）外崎秀人▽保育所保母（新採用）光井真理子▽国保病院医事係（新採用）佐々木美佐子▽今金幼稚園長（今金小学校長兼務）岩渕秀雄▽同教員（新採用）古畑登喜代▽同（同）坂本孝子▽同（同）阿知波真喜子▽同（同）八重樫喜恵子

【四月二日付】▽福祉課長（総務企画課長兼調査係長兼災害消防係長兼広報係長）森野庄平▽福祉課長補佐兼福祉係長（福祉労政課福祉労政係長）稲垣武雄▽福祉課国保係長（教委総務係長）川島紀邦▽同課年金係長（福祉労政課国保年金係）平原昌美▽同課国保係（新採用）石山町子▽同課年金係（出納係）今野むつ子

力を合わせ〝危機〟突破

組織一本化　農民連盟が発足

全農民が結集し、年々きびしくなる農業情勢に対処しようーと、農民同盟と農政協議会が一本化され、新たな農民組織として「今金町農民連盟」が発足しました。

三月二十日町民センターに約二百人が集まり結成総会が開かれ、組織の基調として❶農民が自主的に参加する大衆組織❷反独占の農民運動を展開する❸特定の政党と関係せず、拘束も受けない、などを確認。今年度の活動方針として未加入の農民に加入の努力を続け組織を強化するとともに、農業危機突破のため力を合わせて諸要求を貫徹することにしました。

また、新組織の委員長に中島竹次郎さん（住吉）が選ばれました。

町民センターで開かれた総会

商工会青年部に住民運動実践表彰

明るい郷土づくり運動を推進している商工会青年部（部長青山進さん）が桧山支庁長から住民運動実践表彰

子どもたちに喜ばれるタイや公園

されました。

商工会青年部は、昭和四十一年四月に発足。商工経済の向上という本来の目的のほか、過疎化の進む町に〝カツ〟を入れ夢多い郷土にしようと、日常の激しい労働の合い間をぬって全部員が英知をしぼり、昭和四十六年八月「産業まつり」を企画。町や関係団体も動かし協力を得て年ごとに盛会になり、町の年中行事に定着させました。また❶郷土芸能「狩場太鼓」をつくり全国に今金をPR❷「チビッコ太鼓」の指導による青少年の健全育成❸町民のいこいの場に部員の労力奉仕でウサギ、タイヤ公園を建設❹町内美化運動の基盤「花いっぱい運動」を進めるなど地域の特性を生かした町づくりは住民意識の向上に大きな成果を上げています。

さらに、恵まれた自然環境を生かした一大観光構想にも大きな夢を描いています。

岡林、中里さんが産米改良最優秀に

町産米改良推進委員会（河端豊会長）では、昭和四十八年の産米奨励品種上位等級米出荷優良者として次の方々を表彰しました。

◇A級（四百一俵以上出荷）

▽最優秀賞　岡林晃行（八東）中里孝喜（田代）▽優良賞　中里芳男（田代）田中春吉（神丘）瀬岐誠（八東）

◇B級（三百一俵～四百俵出荷）

▽努力賞　篠森芳太郎（豊田）河端美弘（八東）

◇C級（二百一俵～三百俵出荷）

▽優良賞　伊藤五四郎（住吉）黒沢元吉（神丘）伊藤金蔵（金原）▽努力賞　木島和雄（白石）小田島秀雄（金原）庫元勇（豊田）曽我井徳弥（神丘）佐々木保（鈴金）鈴木トシ（鈴金）

◇D級（百一俵～二百俵出荷）

▽優良賞　吉田チヨノ（鈴金）垣本隆五郎（白石）笹森専吾（金原）相沢新五郎（八東）稲垣雅夫（白石）▽努力賞　天沼汪（神丘）多田守伸（神丘）宗像貞雄（神丘）

将来の農業経営を考えた転作を

ことしの米生産調整目標数量は二千九百七十一㌧（昨年は千六百九十九㌧）と決まり、町と農協では農家との個別面接で協力してもらうことにしました。ことしからは休耕奨励金がなく転作奨励金だけで、これも五十年度で打ち切られますので、将来の農業経営を考えた転作を望んでいます。

農作業を安全に進めよう

▷日常の点検整備を完全に

▷休養を十分にとり、服装にも注意を

▷特に子どもには安全配慮を

みんなの川をたいせつに

5月1日～31日

河川美化月間

新保健婦の石山さん

町三人目の保健婦に石山町子さん（24歳・写真）が着任しました。

石山さんは、滝川市の出身で四十六年三月に道社会保険高等看護学院を卒業後、道勤労者医療協会に勤務、同年六月に看護婦免許を取得しています。また、四十八年四月に道立衛生学院保健婦科に入学、この三月卒業したばかりです。

「菊地、西井両先輩に負けないようがんばります。特に、成人病予防に力を入れたい。」と抱負を語っています。趣味はバスケットボールなどのスポーツとのこと。

成人病予防に力を……

広域消防がスタート

常備増強　救急業務も開始

桧山管内十町が一本化した桧山広域消防組合が四月一日からスタート。今金支署でも開署式が行われました。

初期消防力の充実と予防消防体制の強化のため組合が組織されたもので、常備消防職員の増強により、懸案になっていた防火査察、危険物貯蔵所の管理査察の徹底、消防技術の向上、無線による通信網の整備、救急業務の広域化、タンク車の配備、消防事務の共同処理など、消防団との力強い組合せにより、飛躍的に向上した消防力が期待されます。

また、救急業務も四月一日から始まっています。ベッド二つのマイクロバス型救急車で、二十四時間常時出動可能。事故などによって人の生命、身体の安全を守るために「緊急性のあること」が要件です。出動の要請は、火事と同じく119番に電話し、患者の容体と場所を詳しく知らせてください。

新しい消防支署の人事体制は次のとおりです。

▽支署長兼庶務係長　古畑正雄▽警防係長兼庶務係兼予防係　柳良治▽予防係長兼庶務係兼警防係　芳賀勇夫▽警防係兼庶務係兼予防係　加藤富雄▽庶務係兼警防係兼予防係　小池勝利▽同　田中敬里▽予防係兼警防係兼庶務係　藤原弘一▽同　川崎正美▽警防係兼予防係兼庶務係　森川元▽同　村瀬仁▽同　末広幸弘

本部の車庫で関係者が出席して行われた開署式。

守ろう、緑の財産

ちょっとした不注意が大事に

森林は、木材生産の場であることはもちろんですが、そのほか、山地の崩壊や河川のはんらんの防止、大気の浄化、防風、防雪など私たちが日常生活を営むために欠くことのできない大きな役割を果たしています。

しかし、こうした大事な森林も一度山火事が発生すると、一瞬にして灰と化してしまうのです。

幸い本町では最近大事に至っていませんが、野火などはときどき発生しています。そのおもな発生原因は、依然として、ごみ焼き、たき火、タバコ、マッチなどの不始末や飛火によるものがほとんどです。

私たちの町は、総面積の約八〇%が森林におおわれた恵まれた環境にあります。このたいせつな森林を保護し、私たちが住みよい日常生活を送るためにも、一人ひとりがよく注意することが必要です。

林野火災予消防対策協議会では最も火事のおきやすい四月、五月を「山火事予防実施期間」と定め注意を呼びかけています。

▽山菜取り、魚釣りなどで山にはいるときは、森林所有者から必ず許可を受けてからにする。

▽入林した場合は、タバコ、マッチ、たき火などの後始末に十分注意する。

▽火入れをするときは、必ず町長の許可を受け、注意事項をよく守り、終ったら『完全消火』を確認する。

今野さんに表彰状

山火事予防に尽くす

先人から引き継いだ森林という私たちの貴重な財産を火災から守ろうと、多年にわたり郷土緑化や森林火災警防思想の普及指導などを率先して続けてきたトマンケシ森林愛護組合（組合長加藤源四郎さん）と今野長治さん（光台森林愛護組合）がその功績を認められこのたび函館営林局長から表彰されました。

トマンケシ森林愛護組合は、昭和二十四年六月に組合結成以来二十四年間一件の山火事の発生もなく、また、今野長治さんは、昭和三十八年以来十一年間見張人として山火事予消防に協力しています。

春の火災予防運動
4月20～5月19日

新鮮な野菜不足が悩み

光の里　作業学習も始まる

長い間の願いがようやく実った桧山管内初の精神薄弱者更生施設〝光の里〟学園。三月中旬神丘に園舎が完成、四月一日から園生も次々と入園しています。

山々に囲まれた静かで広々とした雪原、明るい真新しい園舎、スチーム暖房、温湯設備の恵まれた環境の中で「家庭復帰や社会への自立を図る場に」という教育目標と❶良い面をみつけ生きがいを見い出す人❷できるだけ自分のことは自分でする人❸精いっぱい働く人❹生活の楽しみを作り出す人―などの園生像に向って、十人の教職員により生活指導や裁縫、木工などの作業学習が始まっています。

学習と実益を兼ねて食堂のいすづくり

園生は十五歳以上の男女三十人で女子が多く、今金、北桧山を中心にほとんどが桧山管内の人たち。

半身不随などの重い症状の人もおり、情緒の安定にも時間がかかりそうで、落成式、開園式は四月下旬になる見込みです。

町民のみなさんや善意ある人々からは現金をはじめ、テレビ、ミシンなどの寄贈が相次いでおり、町内婦人の奉仕活動もあります。

今金中を退職し学園長に就任した柴谷勝俊さんは「新鮮な野菜不足と物価高が悩みの種です。雪が解けたら花壇づくりなどの環境整備とともに三ヘクタールの野菜畑を耕作するので、来年はある程度自給できると思いますが。」しかし、多くの善意と期待にこたえるよう、豊かな愛に包まれた希望の里にしていきたい。」と抱負を語っています。

編集を終えて

ご協力と励ましに感謝します

○…例年より遅い雪解け。農作業も遅れを取り戻そうと急ピッチのことと思います。激変する経済情勢に毎日の生活もたいへんでしょうが、心だけは明るく保ちたいものです。

○…このたびの町職員の異動で農政課に勤務することになりました。昭和四十三年十二月から五年五カ月の長い間広報業務を担当させていただき、みなさんのご協力や励ましを厚く感謝しています。この間、六十五号の発行をみましたが、はたしてみなさんのお役に立てたかどうかは疑問です。しかし「町政と家庭を結ぶかけ橋として」みなさんの意見が反映された親しみのあるものに」という基本はもち続けたつもりです。

○…おかげで全国コンクールにも入選でき、思い残すことはありません。この五年間を振り返ってみますと、町づくりも大きく進み、その変ぼうぶりに驚きます。町民みんなで住みよい町をつくるという現われと思われます。

○…新しく担当する鈴木係長も張り切っていますので、私同様のご声援をお願いします。私も、むずかしい農業情勢に飛び込み、精いっぱいがんばるつもりです。よろしくご指導をお願いします。貴重な紙面をお借りしあいさつとします。

（高畑秀樹）

おしらせ

■犬の登録と予防注射

ことしの犬の登録と狂犬病予防注射は、4月下旬に各部落に出向いて実施します。詳しい日程は部落町内会長さんを通じてお知らせしますが、必ず受けましょう。

登録料は、更新が200円（4月中のみ）新規は300円、注射料は360円です。ただし、日程日以外は、往診料として300円加算されますのでご注意願います。

■商業統計調査に協力を

商店の分布状況、商業活動の実態を明らかにする商業統計調査は5月1日現在で実施されます。

全国の商店が対象で2年ごとに実施されており商工施策の基礎資料になっています。

近く、調査員が各商店を訪問しますのでご協力願います。

■4月から休日当番医制

北部桧山医師会では、住民の利便のため救急病院として日曜、祝祭日に当番制で急患を診療することになりました。今金町は国保病院、富田医院、岩間医院が交代で担当、午前10時から午後3時まで医師と看護婦が待機しますが、一般診療は取り扱わないので注意してください。

■自動車税の納期が年1回に

自動車税の納期は、昨年度まで5月と10月の2回に分けられていましたが、今年度からは5月15日から5月31日までの年1回に変わりました。

なお、自動車税についてのお問い合わせは、渡島支庁税務部（函館市五稜郭町・電話51―9111）へ。

税の知識

確定申告のまちがい

早く訂正すると有利

昭和四十八年分の所得税の確定申告の受付は三月十五日で終わりました。

しかし、確定申告をした後で内容がまちがっていたことに気づいた方はありませんか。まちがっていたときは訂正することができます。

訂正の手続きなどについてお知らせします。

▽税額を少なく計算していたとき

所得や税額の計算をまちがい、納めた税金が少なかったり、還付を受ける税金が多いことがわかったときは「修正申告」をして正しい金額に訂正することができます。

この修正申告は、税務署から更正の通知があるまではいつでもできますが、なるべく早くした方が有利です。つまり、税務署の調査を受けた後で修正申告をしたときは、税額の五%の過少申告加算税がかかりますが、自分でまちがいを発見して調査を受ける前に修正申告をしたときは、過少申告加算税がかかりません。

▽税額を多く計算していたとき

所得や税額の計算をまちがった還付を受けた税金が少ないことがわかったときは、正しい税額になおすように「更正の請求」をすることができます。

更正の請求ができる期間は、申告期限から一年間ですから、昭和四十八年分の所得税の確定申告については、昭和五十年三月十五日までです。

更正の請求をすると、税務署ではその内容を調べて、納め過ぎの税金を返すことになっています。

▽確定申告を忘れていたとき

確定申告をしなければならない人が、忘れていたりして申告をしていなかったときは、申告期限後でも確定申告をすることができます。この「期限後申告」は、税務署から決定の通知があるまでは、いつでも申告することができますが、なるべく早くした方が有利です。つまり、期限後申告をしないで税務署から決定の通知を受けると、税額の一〇%の無申告加算税がかかりますが、調査を受ける前に申告したときは、無申告加算税は税額の五%で済みます。

なお、申告書の用紙は八雲税務

住民の動態

	前月に比べて
人口	10,316 (+1)
男	5,113 (+3)
女	5,203 (−2)
世帯	2,705 (+4)

(2月28日現在の住民基本台帳人口)

◇たんじょうおめでとう

笹森 貴子(秋信 二女)金原
日野 深雪(一 二女)旭町
阪井 貴成(美男 二男)八束
住吉 卓(義行 二男)栄町
渡瀬美穂子(和夫 長女)金原
千葉 哲也(喜太郎 長男)稲穂
桜井 秀子(利一 四女)神丘
餌取 祥子(勇 長女)鈴金
中塚真由美(栄一 長女)光台
津村 忍(時男 長男)鈴金
菊池 博(保 長男)末広町
菱田 博明(清弘 長男)八束
渡部 真美(重利 長女)旭台
佐久間明子(優一 長女)本町
鷲野 真弓(竹春 長女)昭和町

◇いつまでもしあわせに

阿部 一夫＝三島 信子 八束
米安 強＝塩谷 和子 末広町
吉田 治之＝岩田奈々子 曙町

◆おくやみもうしあげます

坂本作太郎 七十七歳 鈴岡
山崎 はな 八十歳 旭町
有塚 正心 五十七歳 八束
菊地 賢一 四歳 鈴金

＝広報＝トピックス

■要求貫徹で生乳出荷スト

酪農危機で全国的な乳価アップ要求ストが行われましたが、本町でも農協を中心に三月下旬波状的に、プラカードを掲げたパレードや牛乳無料サービス、投棄などで危機を訴えました。

■豊田に優雅なタンチョウ

三月下旬豊田の湿地帯に一羽のタンチョウヅルが飛来、優雅な姿を披露しています。道南にツルが現われたのはめずらしいことですが、仲間にはぐれ迷い込んで来たのでは…。タンチョウは特別天然記念物、みんなで大事に守って、できれば住みついて欲しいもの。